

第202回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日 時: 2007年4月23日(月) 13時~16時50分

会場: **東京理科大学薬学部校舎 薬学部1311教室(13号館) アクセス**
[千葉県野田市山崎2641、電話:04-7121-1501、交通:東武野田線「運河」駅下車]
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります(徒歩7-8分)。
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

講演主題: sub3 μ m 充填剤カラムを用いたHPLCシステムの開発コンセプトとテクノロジー

開催趣旨: 現在、多くのメーカーがsub3 μ m充填剤カラムとこれに対応したHPLCシステムを製品化しています。しかし、充填剤粒子径も1.7~2.2 μ m、装置の規格も色々異なっています。そこで各メーカーの方に開発コンセプト及び、システムを開発するに当たって、どのような新しい技術が盛り込まれたのかを解説していただきます。

講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:05)

((財)化学物質評価研究機構) 須藤 良久

2. 誰にも使いやすい超高速LC用2 μ mカラム YMC-UltraHT Pro C18 の開発と上市 (13:05~13:35)

((株)ワイエムシイ) 栗山 尚浩

3. 超高速液体クロマトグラフィーシステム X-LCと応用例の紹介 (13:35~14:05)

(日本分光(株)) 坊之下 雅夫

4. "ProminenceUFLC"がめざす高速高分離分析とは... (14:05~14:35)

((株)島津製作所) 山口 忠行

5. 進化するLCテクノロジー ~FastLCからUPLCへ~ (14:35~15:05)

(日本ウォーターズ(株)) 江崎 達哉

6. Zorbax 1.8 μ m RRLC カラムを用いた超高速LC, LC/MS分析の実際 (15:20~15:50)

(横河アナリティカルシステムズ(株)) 吉田 達成

7. 粒子径1.9 μ mカラムと高耐圧HPLCシステム Accelaの開発コンセプト (15:50~16:20)

(サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)) 窪田 雅之

8. 総括: (16:20~16:50)

(東京理科大学薬学部) 中村 洋

参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、協賛学会会員(日本分析化学会含む):3,000円、その他:4,000円、学生:500円(当日受付にてお支払い下さい)。

カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させて頂きます)

懇親会

講演終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します(薬学部食堂を予定)。会費:1,000円。

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572、E-mail:hm_tanaka@jsac.or.jp]